

## 23-8 ウエペケレ

「ケトウペトノ イカオピューキ」

ハリガネムシに助けられた

語り：黒川てしめ

アスチ イレス ヒネ オカアン ペ ネ チシ コロ パテク アスチ イレス ワ  
a=suci i=resu hine oka=an pe ne cis kor patek a=suci i=resu wa

私は祖母に育てられ、祖母は泣いてばかりいたので、泣きながら育てられていた者であったが、

オカアン ペ ネ ヒケ、チセ エルプシク タ ポン トライ アン ペ ネ ワ  
oka=an pe ne hike, cise erupsik ta pon toray an pe ne wa

家の東手に小さい湿地の水たまりがあって、

ネ ポン トライ オツ タ シノタン。

ne pon toray or\_ ta sinot=an.

その小さい水たまりで私は遊んだ。

ピシカニケ ピリカ オタ ウン ウシケ(?) アン ペ ネ ワ  
piskanike pirka ota un uske(?) an pe ne wa

その回りに美しい砂浜のあるところ(?)があって、

オロ タ シノタン コロ パテク アナン ペ ネ イケ  
oro ta sinot=an kor patek an=an pe ne h\_ike

そこで遊んでばかりいた。

アスチ トウレプ タ クス エキムネ コロ アトウラ ワ トウレプタアン。  
a=suci turep ta kusu ekimne kor a=tura wa turepta=an.

私の祖母がオオウバユリを掘りに山に行く時には、私も一緒に行って掘った。

ポンノ ポロアニ ワノ キ ワ トウレプ タ コロ  
ponno poro=an h\_i wano ki wa turep ta kor

少し私が大きくなると、オオウバユリを掘りながら、

トゥレプカラ コロ オカアン ペ ネ

**turepkar kor oka=an pe ne**

採りながら祖母と暮らしていた者であった。

アイネ フナク タ シネアンタ スイ タネ ポロアニ ワノ

**ayne hunak ta sineanta suy tane poro=an h\_i wano**

しばらくして、私は大人になり、ある日、またどこかへ

トゥレプタアン コロ イトゥラ ワ アトゥラ ワ トゥレプタアン ワ

**turepta=an kor i=tura wa a=tura wa turepta=an wa**

オオウバユリを掘りに行き、一緒にオオウバユリを掘って、

ヘコテ アルラ コロ エトウイェ コロ オカアン ペ ネ ア プ

**hekote a=rura kor etuye kor oka=an pe ne a p**

祖母の方へ運ぶと、祖母はその頭を切りながらいた者であったのだが、

シネ アン ト スイ ウトゥラアニネ パイエアニネ

**sine an to suy utura=an h\_inne paye=an h\_inne**

ある日、私はまた一緒に行って、

トゥレペトウイェ コロ アン ルウエ ネ ヒネ、

**turepetuye kor an ruwe ne hine,**

祖母はオオウバユリの頭を切って、

ナイ エトク タ…… ナイ オツ タ…… ナイ キプカ タ キ ルウエ ネ。

**nay etok ta... nay or\_ ta... nay kipka ta ki ruwe ne.**

祖母は沢の上でオオウバユリの頭を切っていて、

アナン ネノ イキアン コロ アナン トゥレプタアン コロ インカラン アクス

**an=an neno iki=an kor an=an turepta=an kor inkar=an akusu**

私も同じようにオオウバユリ掘りしながら見たところ、

ソレクス タプ トゥプ ウオサ(?) ペコロ アン ポロ カムイ

**sorekusu tap tup wosa(?) pekor an poro kamuy**

それこそ、今、まさに二頭分もあるような(?) 大きなクマ、

エムコ フレ エムコ クンネ チポロ ポロ アタ ペコロ アン  
emko hure emko kunne cipor poro ata pekor an

半分が赤く半分は黒く筋子をたくさん塗ったような、

プリ ウェンクル アナク エネ オカイ ペ ネ イネ キ イネ  
puri wenkur anak ene okay pe ne h\_ine ki h\_ine

精神の悪いクマがいるのだった。

ヘプニ ワ インカン ランケ コロ アン シリ アヌカラ クス  
hepuni wa inkar\_ ranke kor an siri a=nukar kusu

頭を上げて見ている様子を私は見たので

コント アコツ トウレプ アコロ ワ エカニネ アスチ サマ タ アアリ コツ  
konto a=kor\_ turep a=kor wa ek=an h\_ine a=suci sama ta a=ari kor\_

今度、オオウバユリを持ってきて、祖母のそばに置いて

「タップ ネ カネ ネ ルウエ ネ。」

“tap ne kane ne ruwe ne.”

「このような様子であった」

セコロ ハウエアナン アクス

sekor hawean=an akusu

というと、祖母は

「クス ホクレ キラ ヤク ピリカ。」

“kusu hokure kira yak pirka.”

「では、すぐに逃げた方がいい」

セコロ ハウエアナン アクス ナニ

sekor hawean akusu nani

というと、すぐに

コント ミピ ウセ アヌ イネ チクニ エウシ ヒネ オラ

konto mipi use anu h\_ine cikuni eusi hine ora

今度、衣服を脱いで木に刺して、それから

コント ナニ オシリピチ ナイ オロ ウン キ ヒネ イワク ワ イサム。

**konto nani osirpici nay or un ki hine iwak wa isam.**

今度、すぐに沢へ滑り降りて、帰ってしまった。

ネ オラ オカケ タ スイ ヤイコハウプニアン コッ

**ne ora okake ta suy yaykohawpuni=an kor\_**

その後、私も声を上げて、

トゥレプタアニネ エカニネ アオスラ テキネ

**turepta=an h\_in e k=an h\_in e a=osura tek h\_in e**

オオウバユリ掘りをしに来ていたのを、（掘ったものを）放り出して、

オラ ナニ オフルピツテクテカニネ キラアニネ

**ora nani ohurupittektek=an h\_in e kira=an h\_in e**

すぐに坂を滑り降りて

イワカニネ アウニ タ イワカン。

**iwak=an h\_in e a=uni ta iwak=an.**

家に逃げかえった。

（萱野茂：オオルピ？）

（萱野茂：oorupi ?）

（萱野茂：オオルピ？）

オフルピチ。

**ohurpici.**

オフルピチ。

（萱野茂：オフルピチわかった）

（萱野茂：ohurpici わかった）

（萱野茂：オフルピチ、分かった）

アクス アナン ア…… オカアン アクス

**akusu an=an a... oka=an akusu**

そうしていたところ、

シリクンネ アクス コント シネ ポロクル アフン ヒネ エネ ハウエアニ。  
sirkunne akusu konto sine porokur ahun hine ene hawean h\_i.

日が暮れると、今度、一人の老人が入って来て、このように言った。

「ヘタク タネ エチホッケ ワ ネウン フマシ ヘネ ハワシ ヘネ イキ ヤッカ  
“hetak tane eci=hotke wa neun humas hene hawas hene iki yakka

「さあ、お前たちは寝て、どんな音がしても、どんな声がしても、

イテキ エチハウエ エチアシテ ノ エチオカ ヤク ピリカ ナ。」  
iteki eci=hawe eci=aste no eci=oka yak pirka na.”

声を出さずにいるのだぞ」

セコロ ハウエアニ クス、  
sekor hawean h\_i kusu,

と言ったので、

アスチ トウラノ アスチ ホッケ タ スイ ホッケアニネ オカアン アクス  
a=suci turano a=suci hotke ta suy hotke=an h\_ine oka=an akusu

私の祖母と一緒に、祖母の寝床に私も寝ていると、

オカアン アクス インネ アコロ(?) インカラン アクス  
oka=an akusu inne a=kor(?) inkar=an akusu

見ていると、

アスチ ネノ カネ アン ルプネマツ  
a=suci neno kane an rupnemat

私の祖母とそっくりなお婆さんが

オッカヨ ネ エネ タプ アフン ペコロ ヤイヌアン ア プ、  
okkayo ne ene tap ahun pekor yaynu=an a p,

今、男の人が入ってきたと思っていたのに、

オシソウン ア ワ アン。

osisoun a wa an.

右座に（お婆さんが）座っている。

ス ホカ オツテ ヒネ アン ヒネ オラ ホツケアン ワ オカアン アクス  
su hoka otte hine an hine ora hotke=an wa oka=an akusu

鍋を掛けていて、私たちは寝ていると、

オロ タ アイヌ カスノ ケウエ ポロ クル アフン ルウエ ネ ヒネ  
oro ta aynu kasuno kewe poro kur ahun ruwe ne hine

そこへ人間より背の高い人が入ってきて

コント アペエトク タ モノ ア ルウエ ネ ヒネ ヒナクン……  
konto apeetok ta mono a ruwe ne hine hinak un…

今度、横座へ静かに座る様子であった、そして

「ヒナク ワ アラキ プ エチネ ル アン？」

“hinak wa arki p eci=ne ru an?”

「お前たちはどこから来たのか」

とか なんとか セコロ ハウエアン コロ アン ヒケ カ  
TOKA NANTOKA sekor hawean kor an hike ka

とか、何とか、話しているうちに、

ネノ ハウエアン コロ アン アイネ  
nenno hawean kor an ayne

そのように話しているうちに

ネア アスチ エネ…… ネノ アン ペ エネ ハワニ。  
nea a=suci ene... nenno an pe ene hawan h\_i.

私の祖母そっくりの人がこう言った。

「アマツカラク ヒナクン アラパ ワ イサム ヒネ、

“a=matkarku hinak un arpa wa isam hine,

「私の姪がどこかへ行ってしまって、

ス アアツテ イケカ エネ アラム イ カ イサム。

su a=atte h\_ikeka ene a=ramu h\_i ka isam.

鍋を掛けたが、どうしていいかわからない。

アペアリアン クニ イケカ エネ アラム イ カ イサム ワ アン。」

**apeari=an kuni h\_ikeka ene a=ramu h\_i ka isam wa an.”**

火を起こさないとならないが、どうしていいかわからない」

セコロ ハウエアン コロ キ アイネ

**sekor hawean kor ki ayne**

と言っているうちに、

「タンパククアン。」

**“tanpakuku=an.”**

「タバコを飲もう」

セコロ ハウエアン コロ

**sekor hawean kor**

と言うと

タンパク ク コロ アン アイネ

**tanpaku ku kor an ayne**

タバコを飲みながらいたがそのうちに、

ネア キセリ ネア アペエトク タ アン アイヌ コッカサパ

**nea kiseri nea apeetok ta an aynu kokkasapa**

そのキセルを横座にいた男の膝頭へ

コトウツカ アクス

**kotukka akusu**

押しつけた。すると、

タップ アイヌ ネ ワ アナ プ ハウカン メシコサヌ コロ

**tap aynu ne wa an a p hawkan meskosanu kor**

今まで人間であったのに、グワツという声を立てると、

ソレクスワ タント ネ イホタヌカラ ワ

**sorekusuwa tanto ne i=hotanukar wa**

それこそ、今日、私たちのところへやってきて、

アヌカラ ポロ カムイ ヤイコチュプチセアヌアヌ<sup>[1]</sup> コロ キ アイネ、  
a=nukar poro kamuy yaykocupciseanuanu kor ki ayne,  
私が見かけた大きな神（クマ）の姿になって、自分の体に火が回っているうちに、

プヤラ カリ チソイエカッタ  
puyar kari cisoyekatta  
窓から飛び出して、

オロワノ ヤイコチュプチセアヌアヌ ヌマ カ エピッタ ウフイ ワ キ アイネ  
orowano yaykocupciseanuanu numa ka epitta uhuy wa ki ayne  
自分の体に火が回って、毛がすべて燃えて、そして

オロ タ ライ ルウェ ネ。  
oro ta ray ruwe ne.  
そこで死んでしまった。

アクス オラウン コント エネ ネア カムイ エネ ハウエアニ。  
akusu oraun konto ene nea kamuy ene hawean h\_i.  
それから今度、その神はこのように言った。

「タン メノコ エネ ワ。」  
“tan menoko e=ne wa.”  
「そこの女よ」

アスチ トウラ チサン コロ ホブンパアン。  
a=suci tura cis=an kor hopunpa=an.  
祖母と一緒に泣きながら起き上がり、

アスチ チサ チサ コロ アン アクス エネ ハウエアニ。  
a=suci cis a cis a kor an akusu ene hawean h\_i.  
祖母が泣いて泣いていると、このように言った。

「イタカナクネ エイヌ カトウ エネ アニ。  
“itak=an y\_akne e=i=nu katu ene an h\_i.  
「私がお前に聞かせる話はこういうことだ。

タン エチエルプシケ タ アン

**tan eci=erupuske ta an**

私はお前たちの家の東手にある、

ポン ト オツ タ アン ケトウペトノ アネ イネ アナン ペ ネ イケ

**pon to or\_ ta an ketupetono a=ne h\_ine an=an pe ne h\_ike**

小さい湖に住んでいたハリガネムシであるのだが、

ポンラム ワノ イオツ タ エシノツ コロ

**ponram wano i=or\_ ta e=sinot kor**

幼い時から、私のところでお前が遊んでいて、

アエカシッカシマ コロ アナン ペ ネ アイネ

**a=e=kasikkasma kor an=an pe ne ayne**

私がお前のことを見守っていて、

タネ パクノ エポロ ワ エアン ルウェ ネ ア プ、

**tane pakno e=poro wa e=an ruwe ne a p,**

今までお前は大きくなっているのである。

コント ソレクスワ ヌプリ ケスン プリ ウェン クル

**konto sorekusuwa nupuri kes un puri wen kur**

今度、それこそ、山すそで素行の悪い者（熊）

コント エオナハ アナクネ ネ どこだか クスル エムコ タ だったか

**konto e=onaha anakne ne DOKODAKA Kusur emko ta DATTAKA**

今度、お前の父親は何処か、釧路の上流だったかで、何処か

アコレウエン オツカイポ エネ イキ ヒ カ イサム ペ ネ ワ アン ペ

**a=korewen okkaypo ene iki hi ka isam pe ne wa an pe**

粗末に扱われている青年だった。どうにも暮らしていけないものだったが、

オロ タ ポ サク ウタラ シネ マツネポ コロ ワ アン ペ オロ ペカ

**oro ta po sak utar sine matnepo kor wa an pe oro peka**

息子はおらず娘が一人いる者のところに、

シノ エオナハ イキ コロ アン アイネ

sino e=onaha iki kor an ayne

お前の父親が行き来をされていて、

イレ こんど ウェン カッ ポロ ワ(?)

ire KONDO wen kat poro wa(?)

今度、XXX (?)

イラマンテ イ ワノ アコレウェン イルシカ クス

iramante h\_i wano a=korewen iruska kusu

狩猟をしたときに粗末に扱われて腹を立てたので、

ネンカ アラパ クナク イェ プ

nenka arpa kunak ye p

どこかに行こうと言って、

コント エオナウタリ トウラ クナク イェ イネ

konto e=onautari tura kunak ye h\_ine

今度、お前の父親たちと一緒に言おうと言って、

コント エオナハ と エコロ フチ エトウラ ヒネ

konto e=onaha TO e=kor huci e=tura hine

今度、お前の父親とお前の祖母がお前を連れて、

エアニ アナク ホン オロ エオマ イ ネノ アニネ

eani anak hon or e=oma h\_i neno an h\_ine

(母親は)お前をお腹にやどしたままで

エトウラ ヒネ アラキ ヒネ テタ エチオカ ルウェ ネ ペ、

e=tura hine arki hine teta eci=oka ruwe ne pe,

お前を連れて来て、そしてここにお前たちは住んでいたのだが、

コント イサム エオナハ キ ヒ クス

konto isam e=onaha ki hi kusu

今度、お前の父親がいなくなったので、

ネア クスル エムコ ワ ネア アヌ…… アイノンノイタク  
nea Kusur emko wa nea a=nu... a=i=nonnoitak

釧路で私は祀られていたのだが、

ネイ ワ ノ スイ アナニ エラムオカ クス アイノンノイタク アイネ  
ney wa no suy an=an h\_i eramuoka kusu a=i=nonnoitak ayne

(お前の父親たちは)私がいるところを知っているので、お祈りを続けており、

エカニネ ネ エオナハ クチャ オツ タ アニネ  
ek=an h\_inē ne e=onaha kuca or\_ ta an h\_inē

それで私はやってきたのだが、そのお前の父親は狩小屋で眠っているときに、

モコロ ワ アニ ウン アモコットウシマクテ アライケ ア プ  
mokor wa an h\_i un a=mokottusmakte a=rayke a p

寝こみを襲われて殺されてしまった。

コント エコロ エカシ イオカフナラ クス  
konto e=kor ekas iokahunara kusu

今度、お前の祖父が、(お前の父を) 捜すために行ったが、

アラパ ヒネ エコロ エカシ カ アライケ ルウェ ネ ア プ  
arpa hine e=kor ekas ka a=rayke ruwe ne a p

お前の祖父も殺された。

スイ エウヌフ イオカフナラ ヒネ カ アライケ。  
suy e=unuhu iokahunara hine ka a=rayke.

そしてまた、母親が探しに行つて殺された。

ネ レン ネ ヒネ アロンヌ ワ イサム マ  
ne ren ne hine a=ronnu wa isam w\_a

その3人は、そして殺されていなくなり、

オラノ エウヌフ エヌペコレス アイネ エネ エポロ ルウェ ネ ヒネ  
orano e=unuhu e=nupekoresu ayne ene e=poro ruwe ne hine

それからお前の母親<sup>[2]</sup>は、涙を溜めながらお前を育てて、

エア ン ルウ エ ネ ペ、

e=an ruwe ne pe,

このようにお前は大きくなって暮らしていたのだが、

スイ エチ オカ ヒ ネア アラウ エン カムイ たか ワクス エカニ ネ ア プ、

suy eci=oka hi nea arwen kamuy TAKA wakusu ek=an h\_i ne a p,

再びお前たちがいることを、あの全く悪い神だか（が知った）から私がやってきたのだが、

エネ オヤチキ エネ アラウ エンカムイ エラム アニネ エク ルウ エ ネ コロ  
カ、

ene oyaciki ene arwenkamuy eramuan h\_in e ek ruwe ne korka,

思うに本当に悪い神が、（お前たちがいることを）知ってやって来たのだが、

アシヌマ アナク ケトウペトノ アネ ワ

asnuma anak ketupetono a=ne wa

私はハリガネムシの神であるので、

ポンラム ワノ<sup>[3]</sup> アエシッカシマ エトウラノ シノタン

ponram wano a=e=sikkasma e=turano sinot=an

（お前が）幼い時から私は見守ってきて、お前と一緒に遊んだ。

イヤケ タ パテク エシノツ ワ キ コロ エア ン ペ ネ ワ クス、

i=yake ta patek e=sinot wa ki kor e=an pe ne wa kusu,

私の（いる沼の）岸でばかりお前は遊んでいたのだ、

ネ ヌプリ ケシ プリ ウエンクル カ

ne nupuri kes puri wenkur ka

その山のふもとに住む乱暴者は

タネ アナクネ アッテイネシリ アラウ エン モシリ アコオテレケ ワ

tane anakne atteynesir arwen mosir a=kooterke wa

湿地の国、全く悪い国土へ、私は踏み落としたので

イサム ルウ エ ネ ヤク ン

isam ruwe ne yakun

(それによって) いなくなったのだ。

タアン コント チセコロカムイ エコロ エカシ カラ カムイ ネ ワ アン ペ  
taan konto cisekorkamuy e=kor ekas kar kamuy ne wa an pe  
今度、家を司る神、お前の祖父が作った神が、

エチオカ カ イサム アクン ネ  
ecioka ka isam y\_akun ne  
お前たちがいなくなったら、

エネ イキ クニ カ エランペウテク ルウェ ネ クス  
ene iki kuni ka erampewtek ruwe ne kusu  
どうしてよいかわからないだろうから、

エチルラ ワ エチルラ ワ アイヌ オカ ウシケ ウン エチサプ ヤクン、  
eci=rura wa eci=rura wa aynu oka uske un eci=sap yakun,  
運んで行って、人のいるところへお前たちが下りたなら、

アイヌ オカ ウシケ エチエラムオカ チキ オラウン オロワ  
aynu oka uske eci=eramuoka ciki oraun orowa  
人のいるところがわかったならば、

『タブネ ネ』  
'tapne ne'  
『これこれこういうことです』

セコロ ハワシ コロ アイノミ クニ エチイエ ヤクネ  
sekor hawas kor a=i=nomi kuni eci=ye yakne  
と言いながら、私にお祈りするようにお前たちが言って祀ってくれたならば、

アイノミ ヤクネ アエヤイカムイネレ コロ アエチエプンキネ クス ネ  
ナ。」  
a=i=nomi yakne a=eyaykamuynera kor a=eci=epunkine kusu ne na.”  
私はそれで神格が高まり、私はお前たちを守ってやるだろう」

セコロ ハウエアン テキネ

sekor hawean tek h\_ine

と言って、

オラ クリ パン テキネ オアラ イサム ルウェ ネ ア プ  
ora kuri pan tek h\_ine oar isam ruwe ne a p

ぱっと姿を消してしまった。

オラ ホッケアン パ アコロ フチ チサ チサ コロ キ アイネ、  
ora hotke=an pa a=kor huci cis a cis a kor ki ayne,

祖母は泣き続けていて、そのうちに

ホッケアン パ プ、ウエンタラパン アクス  
hotke=an pa p, wentarap=an akusu

私たちは寝たのだが、夢を見ると、

カムイ ネ クス コラチ アン クル アニネ エネ ハウエアニ。  
kamuy ne kusu koraci an kur an h\_ine ene hawean h\_i.

神のようなお方が出てきて次のようにおっしゃった。

「タネ アナクネ ラヤナクン オラ エネ エチライ ヤクン  
“tane anakne ray=an y\_akun ora ene eci=ray yakun

「今、私が死んだら、このようにお前たちが死んだなら、

エネ イキアン ワ クニ カ アエランペウテク カムイ アネ ワ キ プ  
ene iki=an wa kuni ka a=eranpewtek kamuy a=ne wa ki p

私はどうしてよいかわからないので、

オラウン カムイ アネ ア プ オラ キ ワ クス カムイ ネ ワ クス、  
oraun kamuy a=ne a p ora ki wa kusu kamuy ne wa kusu,

私は神であるがわからないので、

ケトウペトノ カ アニスク ワ  
ketupetono ka a=nisuk wa

ハリガネムシの神に頼んで、

タネ アナクネ プリ ウエンクル アッテイネシリ

tane anakne puri wenkur atteynesir

もはや素行の悪い者（クマ神）を湿地の国へ、

アコオテレケ ワ イサム ルウェ ネ コロカ

a=kooterke wa isam ruwe ne korka

私は踏みつけて追いやったのであるが、

ネ エネ エチキ ワ アイヌ エチネ(?) クニ カ アエランペウテク クス

ne ene eci=ki wa aynu eci=ne(?) kuni ka a=erampewtek kusu

どのようにしたらお前たちが人間でいられるかもわからない(?)ので、

タップ ニサッタ アン チキ チップ オルン エチコロ ワ アン ペ エチルラ ワ

tap nisatta an ciki cip or un eci=kor wa an pe eci=rura wa

明日になったら、舟にお前たちの荷物を運び、

オラウン チップ サパ タ エチイアシ ワ エチサップ ヤクネ、

oraun cip sapa ta eci=i=asi wa eci=sap yakne,

舟の頭に私を立てて、川を下れば

サパン アイネ ソ キプカ タ エチサップ ナンコロ ヤクネ

sap=an ayne so kipka ta eci=sap nankor yakne

川を下っていくうちに、滝の上まで来るだろう。そうしたら、

ソ キプカ タ エチサップ チキ オラ コント、

so kipka ta eci=sap ciki ora konto,

滝の上まで下ったら、

エチオカ アナク エチヤップ ワ オラノ エチラップ アイネ

ecioka anak eci=yap wa orano eci=rap ayne

お前たちは岸に上がって、山を下り、

スイ ソ ポク タ エチラップ ヤクン

suy so pok ta eci=rap yakun

そして滝の下まで下りたなら

オラ スイ タン チップ オロ エチウイル ヤク アナクネ

ora suy tan cip or eci=uyru yak anakne

再び舟に乗り、そうすれば

ソレクスワ トカプチ ホントモ コン ニシパ パクノ ニシパ イサム ニシパ  
sorekusuwa Tokapci hontomo kor\_ nispa pakno nispa isam nispa

それこそ、十勝川河口の途中にいる首領、比べる者がいない程の物持ち。

ネ パク ケウトウム ピリカ プ ネ オッカイポ カ

ne pak kewtum pirka p ne okkaypo ka

そこに住む心根の良い者である若者は、

パク ケウトウム ピリカ プ イサム ペ ネ クス、

pak kewtum pirka p isam pe ne kusu,

他に比べる者がいない程の心根の良い者なので

ポニウネ ヒケ エコロ ヤク アナクネ、

poniwne hike e=kor yak anakne,

その弟のほうをお前が夫に持てば、

ネプ エチイシトマ ネプ エチコン ルスイ カ ソモ キ クス、

nep eci=isitoma nep eci=kor\_ rusuy ka somo ki kusu,

お前たちは何を恐れることも、何を欲しいとも思わないでいられるので、

ケトウペトノ エチカシオピウキ クスケライポ

ketupetono eci=kasiopiwki kusukeraypo

ハリガネムシ（の神）がお前たちを助けてくれたお陰で、

エチシクヌ ルウエ ネ クス、

eci=siknu ruwe ne kusu,

お前たちは生きることが出来たのだから

オラ ネ タプネ ネ イ エチイエ ヤクネ

ora ne tapne ne h\_i eci=ye yakne

それから、これこれこういうことだということをお前たちは言って、

アイホプニレ ワ アイコレ ヤクネ

a=i=hopunire wa a=i=kore yakne

私を神の国へ帰してくれるのなら、

オラウン アエチエブンキネ ヤク

oraun a=eci=epunkine yak

私がお前たちを守ってあげるの

ソレクスワ エイリパク ペ イサム ペ エネ クス ネ ナ。

sorekusuwa eirpak pe isam pe e=ne kusu ne na.

それこそ、お前たちは並ぶものがない者になるだろうよ。

ネノ エイキ プ ネ ナ。」

nenno e=iki p ne na.”

そのようにするのだぞ」

セコロ スイ ウェンタラパン、ホッケアン アクス キ アクス

sekor suy wentarap=an, hotke=an akusu ki akusu

という夢を再び見た。寝ていたところ夢をみた。

アスチ カ ネノ ウェンタラプ ヤク (イエ) コッ チサ チサ コロ オラ、

a=suci ka nenno wentarap yak (ye) kor\_ cis a cis a kor ora,

すると、私の祖母も同じ夢を見たと言って泣きながらいると、

イシムネ ヒケ チプ シネプ アン オカアン ペ ネ ア プ、

isimne hike cip sinep an oka=an pe ne a p,

翌日、私たちの舟が一艘あったのだが、

ネ チプ オルン トゥ アネ スウオプ アン ヒネ

ne cip or un tu ane suwop an hine

その舟の中に細い箱がふたつ入っていて、

オラ カムイ カ ニスク ワ アン ペ ネ プ、

ora kamuy ka nisuk wa an pe ne p,

(家の)神に頼まれたことだから

ネア カムイ チプ サパ タ アシ ヒネ

nea kamuy cip sapa ta asi hine

その神を舟の頭に立て、

オラウン アシヌマ アナクネ チプ オソツ タ たか

oraun asinuma anakne cip osor\_ ta TAKA

私は舟の艫でなくて、

オラ チプ オツ タ オカアン。

ora cip or\_ ta oka=an.

舟に乗った。

ソモ チポアナッカ チポアン ペ ネ セコロ ウェンタラパン ア プ

somo cipo=an y\_akka cipo=an pe ne sekor wentarap=an a p

私たちが舟を漕がなくても舟は進むぞと夢に見たが、

キ イネ オラノ ネア チプ サン アイネ ソンノ カ ポロ ソ アニネ、

ki h\_ine orano nea cip san ayne sonno ka poro so an h\_ine,

その通りになり、舟が川を下って行くと、本当に大きな滝があった。

ネ ソ キプカ タ ネア チプ ヤン ヒ クス

ne so kipka ta nea cip yan hi kusu

その滝の上で、その舟が岸についたので、

オラ アスチ トウラ ヤパニネ

ora a=suci tura yap=an h\_ine

祖母と一緒に上陸し、

オラノ ヌプリ コトロ ペカ イキアン アイネ ラパン ヤクン、

orano nupuri kotor peka iki=an ayne rap=an yakun,

山の斜面を歩いて山を下ると、

「エチラプ ヤクン オラ ネ チプ アナクネ アコロ ワ ラナン ワ

“eci=rap yakun ora ne cip anakne a=kor wa ran=an wa

「お前たちが山を下りたならば、舟は私が持って下りて、

アエチテレ プ ネ クス

a=eci=tere p ne kusu

お前たちを待っているの、

スイ エチ…… ソ キッポク タ エチラプ チキ オラ エチチポ プ ネ ナ。」

suy eci... so kippok ta eci=rap ciki ora eci=cipo p ne na.”

滝の下に下りたならまた舟に乗るのだぞ」

セコロ ハウエアン ペ ネ クス キ イネ、

sekor hawean pe ne kusu ki h\_ine,

と（家の神が）言っていたので、そのようにして、

オラノ ラパン アイネ イキアン アイネ

orano rap=an ayne iki=an ayne

それから山からふもとへおり、そして

ソ ポク タ ラパン アクス ネ アコッ チプ ソンノ カ イヤル(?) ヒネ アン。

so pok ta rap=an akusu ne a=kor\_ cip sonno ka iyaru(?) hine an.

私は下って行って滝の下へおりると、本当に私の舟があった。

オラ アスチ アナク チサ チサ コロ ネア チプ オロ アフニネ

ora a=suci anak cis a cis a kor nea cip or ahun h\_ine

それで私の祖母は泣きながらその舟に入って、私たちは乗った。

オロ タ オカアニネ オラノ ネア チプ サン アイネ

oro ta oka=an h\_ine orano nea cip san ayne

それからあの舟は川を下り、そのうちに

インネ コタン アン シリキ イネ コタン ラ タ ネア チプ ヤン ヒネ アン

inne kotan an sirki h\_ine kotan ra ta nea cip yan hine an

大きなコタン（村）が見えてきて、その村の下の方に舟が着いた。

ヒネ オカアン アクス トウ ポン メノコ アルケサンパ ヒネ

hine oka=an akusu tu pon menoko arukesanpa hine

そうしていると、ふたりの若い娘が先を争って

サピネ エネ ハウオカイ  
sap h\_ine ene hawoka h\_i  
下りて来て、このように言った。

「ホシキ サン クツ トアン チプ オッ タ アン ペ コロ」  
“hoski san kur\_ toan cip or\_ ta an pe kor”  
「先に下りた者があの舟にあるものをもらうのよ」

セコロ ハウオカ コロ サプ アクス  
sekor hawoka kor sap akusu  
と言いながら下りてくると、

ポニウネ ノイネ アン ピリカ メノコ ホシキ ラニネ  
poniwne noyne an pirka menoko hoski ran h\_ine  
年下らしい、美しい女の子が先に下りてきて、

チプ ヤンケ ヒネ ネア チプ エシカリ ヒネ オラノ コント ソレクスワ  
cip yanke hine nea cip esikari hine orano konto sorekusuwa  
舟を陸に上げ、その舟をつかんだ。今度、それこそ、

「ヒナク ワ アラキ プ アネ ルウエ アン？」  
“hinak wa arki p a=ne ruwe an?”  
「あなたたちはどこから来たの？」

セコロ ハウエオカ コロ コント アテケ ルイルイパ パ コロ  
sekor haweoka kor konto a=teke ruyruypa pa kor  
と言いながら、今度、私の手をなでさすり、

オラ ヘメシパ パ アクス、  
ora hemespa pa akusu,  
坂を上がって（戻って）行った。

オラ オヌイタサ ソレクスワ アイヌ カ ウタラパケ ポロメノコ カ ラン。  
ora onuytasa sorekusuwa aynu ka utarpake poromenoko ka ran.  
すると入れ替わりに、それこそ、立派な頭領、大人の女性も下りてきた。

ネ オッカヨ ネ ポロクル カ ラン。オッカイポ カ ラピネ  
ne okayo ne porokur ka ran. okaypo ka rap h\_inē  
男も老人も下りてきた。青年（男）たちも下りてきた。

コント ソレクスワ アウヌフ たか アスチ カシ タ チシ パ コロ  
konto sorekusuwa a=unuhu TAKA a=suci kasi ta cis pa kor  
今度それこそ、私の母親ではなくて、私の祖母を抱きしめて泣いた。

オラ コントアスチ  
ora konto a=suci  
今度、私の祖母は

「タップネ タブネ ネ ワ ネ イキパアニ カ イサム アイネ  
“tapne tapne ne wa ne ikipa=an h\_i ka isam ayne  
「こうこうで、どうしようもなかったのだが、

タ カムイ イルラ ワ サパン ルウェ ネ。」  
ta kamuy i=rura wa sap=an ruwe ne.”  
このように神が私たちを運んでくれて、山から下りてきたのだ」

セコロ ハウエアン オラ ネア チセコロカムイ ネ オンネクル アニ ワ  
sekor hawean ora nea cisekorkamuy ne onnekur ani wa  
と言うと、その「家を司る神」を老人が手に持ち、

ネア トゥ アネ スウオプ ウコセ ヒネ アシケ アセ イネ イワカニネ  
nea tu ane suwop ukose hine a=sike a=se h\_inē iwak=an h\_inē  
ふたつの細い箱を一緒に背負って、私たちは荷物を背負って家に戻った。

ネア オンネクル…… ネ インネ コタン ポロ コタン アン  
nea onnekur... ne inne kotan poro kotan an  
その大勢の村、大きな村、

コタン ノシキ タ パイエアン アクス オラノ  
kotan noski ta paye=an akusu orano  
村の真ん中へ行くと、

ソレクスワ オッカイポ カ ウタラパケ トupp アニネ  
sorekusuwa okkaypo ka utarpake tup an h\_inē  
それこそ、若者と言っても立派な首領がふたりいて、

オロワ ラp ポンメノコ ウタン ネ ロコカ アン  
orowa rap ponmenoko utar\_ne rokoka an  
(さっき) 下りてきた娘たちと思われる者たちもいる。

オラノ エアラキンネ イコエヤイコブンテク パ コロ  
orano earkinne i=koeyaykopuntek pa kor  
そして私たちのことをとても喜んでくれて、

オラ アスチ カシ タ チシ パ コロ オラノ オロ タ オカアン アクス  
ora a=suci kasi ta cis pa kor orano oro ta oka=an akusu  
私の祖母を抱いて泣いてくれていて、それからそこに暮らしていると、

ネア オンネクル エネ ハウエアニ。  
nea onnekur ene hawean h\_i.  
あの年寄りがこのように言った。

「タpネ ネ ハウエ ネ オラウン ネイ パク イコヤントネ パ アクン  
“tapne ne hawe ne oraun ney pak i=koyantone pa y\_akun  
「そういうことであれば、いつまでも私の家に滞在するのも

エランペカマンパ クス  
erampekamampa kusu  
気づまりだろうから、

シンナ…… ポン アポホ タン ポンメノコ コロ ワ シンナ オカ。  
sinna... pon a=poho tan ponmenoko kor wa sinna oka.  
下の息子はこの娘を嫁にして別の家に暮らさなさい。

アコロ ワ アン ペ ウパクノ ウコウサライエ ワ  
a=kor wa an pe upakno ukousaraye wa  
私の財産を半分に分けて、

タン ポロ アポホ アイヌコロ ワ イトゥラアン

**tan poro a=poho aynukor wa itura=an**

大きい息子も結婚して、私と一緒に暮らし、

オラ アマツネポウタリ カ アイヌコロ ワ

**ora a=matnepoutari ka aynukor wa**

娘たちも結婚して

シンナ シンナ オカ ヤク ピリカ。」

**sinna sinna oka yak pirka.”**

それぞれ別の家で暮らしなさい」

セコロ カネ ハウエアン

**sekor kane hawean**

と言った。

イネ コント ネロク トウ ポンメノコ カ アイヌコロ ワ シンネ オカ。

**h\_ine konto nerok tu ponmenoko ka aynukor wa sinne oka.**

そして、今度、あのふたりの娘も結婚して、別に暮らしている。

ネロク オツカイポ ウタラ キヤンネ ヒケ

**nerok okkaypo utar kiyanne hike**

件（くだん）の若者たちも年上の者は

ピリカ メノコ コロ ワ シンナ アン。

**pirka menoko kor wa sinna an.**

美しい女性を妻にして別に暮らし、

ネア ポニウネ イケ ピリカ チセ ポロ チセ カリネ

**nea poniwne h\_ike pirka cise poro cise kar h\_ine**

弟のほうは立派な家、大きな家を建てて、

オロ タ ネア アコロ トウ アネ スウオブ

**oro ta nea a=kor tu ane suwop**

その私が持っているふたつの細い箱と、

ネア アコロ カムイ トウラノ アエオクテ イネ オラ ネア  
nea a=kor kamuy turano a=eokte h\_ine ora nea  
私の家の守り神を一緒に壁に掛けて、それからその、

コント ネア カムイホプニ  
konto nea kamuyhopuni  
今度、その（家の守り）神を送った。

「タネ シニウカアン オホンノ アナン ワ シニウカアン クス  
“tane siniwka=an ohonno an=an wa siniwka=an kusu  
「もう私は疲れた。長いこと（人間の世界に）いて、私は疲れたので、

アイホプニレ ヤク カムイ オロ ワ アエチエプンキネ ヤク アナク  
a=i=hopunire yak kamuy or wa a=eci=epunkine yak anak  
私を送ってくれたなら、神の世界から私がお前たちを守ってやるから、

ネプ エチエシリキラプ カ ソモ キ プ ネ ナ。」  
nep eci=esirkirap ka somo ki p ne na.”  
そうすればお前たちは何に困ることもないぞ」

セコロ ウェンタラパン ペ ネ ヒネ ネノ ハウエアナン アクス  
sekor wentarap=an pe ne hine neno hawean=an akusu  
と、私は夢を見て、そのことを話すと、

オラ ネア オンネクル ネノ ネア カムイ カムイホプニ クニ  
ora nea onnekur neno nea kamuy kamuyhopuni kuni  
あの年寄が、その通りに家の守り神を、

オッカシタ ホプニレ イネ オラ  
okkasta hopunire h\_ine ora  
通常以上に立派に神の国へ送り、

アシリカムイ スイ ニスキネ アウニ タ アン ワ  
asirkamuy suy nisuk h\_ine a=uni ta an wa  
新しい神を再び頼んで私の家に置き、私たちは暮らしていた。

オラノ オカアン ワ ネプ アエ ルスイ

orano oka=an wa nep a=e rusuy

何を食べたいとも

ネプ アコン ルスイ ソモ キ ノ オカアン ルウェ ネ アイネ、

nep a=kor\_ rusuy somo ki no oka=an ruwe ne ayne,

何を欲しいとも思わないで暮らしているのである。

ラポッケ タ ネア サケコラン コロ

rapokke ta nea sakekor=an kor

その間、お酒を作ると、

ケトゥペトノ アパセノミ ヒ アイェ コロ オカアン ワ、

ketupetono a=pasenomi hi a=ye kor oka=an wa,

ハリガネムシの神へ私は尊いお祈りをしますよ、と言いながら暮らしていて、

アスチ アナク ネイ タ ヌペ サク シリ カ イサム コロ オカアン アイネ

a=suci anak ney ta nupe sak siri ka isam kor oka=an ayne

祖母は涙が乾く様子もなく暮らしていたが、そのうちに

ポコラン マ イコイヨマップ コロ オカアン アイネ

pokor=an w\_a i=koiomap kor oka=an ayne

私は子供を産み、祖母はその子供を可愛がりながら暮らしている。

アポウタリ カラ ペ カ エ コロ アン アイネ

a=poutari kar pe ka e kor an ayne

私の子供たちが作ったものを（祖母は）食べていて、

ラポッケ アピリカオンネレ オカケヘ タ

rapokke a=pirkaonnere okakehe ta

そうしながら天寿をまっとうさせたその後に、

ネア アホク パク イソンクル イサム イソンクン ネ ワ、

nea a=hoku pak isonkur isam isonkur\_ ne wa,

私の夫ほどの狩りの名人はいないので、

ネプ アエ ルスイ ネプ アコン ルスイ ソモ キ ノ オカアン アイネ  
nep a=e rusuy nep a=kor\_rusuy somo ki no oka=an ayne  
何を食べたいとも何を欲しいとも思わないでずっと暮らして

オンネ シンネ クス アイェ セコロ。

onne sinne kusu a=ye sekor.

年をとったので、(そのことを) 語りました、と。

(萱野茂：ああ、いいウエペケレでしたね)

(萱野茂：ああ、いい uepeker でしたね)

(萱野茂：ああ、いい散文説話でしたね)

#### 【注】

[1] yayko- 「自分に」 cupcise 「日輪」 anuanu 「を置く・置く」

[2] 「母親」は「祖母」の誤り。

[3] ポンラム ワノ ponram wano はポンラム オロ ワノ ponram oro wano か。